

「兵庫県健康づくり推進実施計画(第2次)」の評価について

第2次計画の目標達成状況

達成状況	項目数	主な目標項目
目標を達成したもの [◎]	56 34.4% ※うち再掲 6	健康への意識の向上、血圧高値の割合、健康づくりチャレンジ企業数、未成年の喫煙、不眠割合、感染症予防対策に取り組む人の割合 など
目標は未達成だが、 改善したもの [○]	64 39.3% ※うち再掲 5	健康寿命の延伸、特定健診の受診率、特定保健指導の実施率、がんの年齢調整死亡率、がん検診受診率、野菜摂取量、運動を継続している人の割合、喫煙者、受動喫煙の機会、歯科健診受診割合、自殺者数 など
改善がみられないもの [△] ※	5 3.1%	メタボリックシンドロームの該当者、やせの割合(女性)、多量飲酒者 など
数値が悪化しているもの [×]	34 20.8% ※うち再掲 1	HbA1c 高値の割合、食塩摂取量、肥満割合(男性)朝食を食べる人、日常生活における歩数の増加(20歳以上)、スポーツをする子ども など
未評価	4	虚血性心疾患の年齢調整死亡率、脳血管疾患の年齢調整死亡率 (※人口動態統計特殊報告が R5.12 月に公表予定)
合計	163	

現時点で評価可能な 147 項目のうち、達成「◎」が 50 項目、改善「○」が 59 項目となっており、全項目の約 7 割以上を達成または改善と評価しています。

第2次計画の評価総括

健康づくり推進実施計画(第2次)の現時点で評価可能な目標の 147 項目中、50 項目(33.8%)が「◎(達成)」、59 項目(39.9%)が「○(改善)」と評価されました。一方、33 項目(22.3%)は「×(悪化)」と評価されています。

主な指標として設定した「健康寿命の延伸」は、目標値には達しませんでしたでしたが改善しており、「圏域間の健康寿命の差の縮小」は、男性は達成し、女性は不達成となりました。「健康意識の向上」は、目標を達成しました。

これらの達成状況を鑑みると、健康づくり推進実施計画(第2次)における取組は、一定の効果があつたと評価できます。

しかしながら、計画のアウトカム(成果)評価となる、HbA1c 高値の者の割合やメタボリックシンドローム該当者割合等が悪化傾向です。

加えて、計画期間中(平成 30 年～令和 5 年)においては、新型コロナウイルス感染症の流行や、働き方と生活スタイルの変化により県民を取り巻く社会環境は大きく変化しており、今後の健康状態に影響を及ぼす可能性があります。

さらに進展することが予測される少子高齢化にも対応できるように、今後も状況を注視しながら、健康づくり施策を推進していく必要があります。

健康寿命の延伸という課題に取り組むにあたっては、各種疾病の早期発見、治療管理による疾病の重症化予防、介護・福祉サービスなどの取組も非常に重要であり、兵庫県の各種関連計画と整合性を図りつつ、本計画の策定および健康増進施策を進めていくことが重要です。

第2次計画の主な指標の達成状況

計画の目標項目	策定時		目標	直近の実績値			
	数値	年度		数値	年度	評価	
◎ 主な指標							
健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸	男性	79.62	H27	1年延伸	80.41	R2	○
	女性	83.96	H27		84.93	R2	○
圏域間の健康寿命の差の縮小	男性	2.24年	H27	縮小	1.92年	R2	◎
	女性	1.11年			1.31年	R2	×
健康への意識の向上(無関心層の減少)		13.2%	H28	減少	9.2%	R3	◎

主な指標の評価

健康寿命(平均自立期間)

5年間(H27~R2)で男性 0.79 歳、女性 0.97 歳延伸しており、評価は「○(改善)」となりましたが、目標の 1 年延伸には到達しませんでした。

平均寿命も同様に延伸しているため、不健康期間(平均寿命と健康寿命の差)は横ばいの傾向にあります。

圏域間の健康寿命の差の縮小

圏域別の健康寿命をみると、男女ともに最も長い圏域は「阪神北」であり、男性で最も短い圏域は「中播磨」、女性で最も短い圏域は「西播磨」となっています。差は、男性で 1.92 年(前回: 2.24 年)、女性で 1.31 年(前回: 1.11 年)となっており、男性は短縮し「◎(達成)」となりましたが、女性は差が開いたため「×(悪化)」となっています。

健康意識の向上

健康意識に関する指標としては、兵庫県が実施する健康づくり実態調査にて、「普段から健康に気をつけるよう意識していますか」という設問に対して、「健康に関して特に意識しておらず、何も行っていない」回答した者を、健康無関心層とし評価しました。

健康無関心層の割合は策定時(H27)と比較して 4 ポイント減少し、評価は「◎(達成)」となり、県民の健康意識が向上したと考えられます。

## 第2次計画の分野別目標指標の達成状況

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値			
		数値	年度		数値	数値	年度	評価
<b>1. 生活習慣病等の予防</b>								
(1) 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上								
① ほぼ毎日本体重を測定する人の割合の増加(20歳以上)	男性	15.9%	H28	20%以上	15.3%	R3	×	
	女性	23.8%		30%以上	25.0%	R3	○	
② かかりつけ医をもつ人の割合の増加		71.2%	H28	増加	69.7%	R3	×	
③ かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を持つ人の割合の増加		31.8%	H28	増加	35.30%	R3	◎	
④ まちかど相談薬局設置数の増加		588軒	H29.6	800軒	541軒	R3.4	×	
⑤ まちの保健室の相談者数の増加		39,907人	H28	増加	1,877人	R3	×	
⑥ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	30.7	H27	減少	-	R2	未	
	女性	11.7		-	R2	未		
⑦ 脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	36.9	H27	減少	-	R2	未	
	女性	19.1		-	R2	未		
⑧ 特定健診の受診率の向上(40~74歳)		46.5%	H27	70%	49.7%	R2	○	
⑨ 特定保健指導の実施率の向上(40~74歳)		14.4%	H27	45%	20.1%	R2	○	
⑩ メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少(県平均)		16.1%	H27	12%	16.1%	R2	△	
⑪ メタボリックシンドロームの予備群の割合の減少(県平均)		9.9%	H27	9%	12.6%	R2	×	
⑫ 特定健診受診者のうち収縮期血圧が130mmHg以上の者の割合の減少(NDBオープンデータ)	男性	40.6%	H25	減少	39.5%	R1	◎	
	女性	31.6%		29.0%	R1	◎		
⑬ 特定健診受診者のうちHbA1C該当者5.6%以上の割合の減少(NDBオープンデータ)	男性	44.4%	H25	減少	50.3%	R1	×	
	女性	45.0%		49.7%	R1	×		
⑭ 糖尿病腎症重症化予防プログラムの実施保険者数(市町国保)		13市町	H28	41市町	41市町	R3	◎	
⑮ 糖尿病合併症(糖尿病による新規透析導入患者数)の減少		589人	H27	565人	606人	R2	×	
⑯ 糖尿病有病者のうち治療を継続している人の割合の増加		63.8%	H28	75%	68.5%	R3	○	
⑰ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	男性	14.5%	H28	10%	13.8%	R3	○	
	女性	10.3%		5%	9.0%	R3	○	
⑱ 健康づくりチャレンジ企業登録数		936社	H28	1,500社	2,163社	R4	◎	
⑲ 75歳未満のがんの年齢調整死亡率が全国平均より5%以上低い状態(10万人対)		77.3 全国 (78.0)	H27	全国平均より5%以上低い状態	69.0	R2	○	
⑳ がん検診受診率の増加(40歳~69歳、子宮頸がんのみ20歳~69歳)	胃	35.9%	H28	50%	36.8%	R1	○	
	肺	40.7%			44.6%	R1	○	
	大腸	39.8%			42.5%	R1	○	
	子宮頸	38.1%			39.1%	R1	○	
	乳	40.6%			42.1%	R1	○	

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値			
		数値	年度		数値	数値	年度	評価
<b>(2) 食生活の改善</b>								
①	1日あたりの食塩摂取量の減少(20歳以上)	9.6g	H28	8g	10.0g	R3	×	
②	1日あたりの野菜摂取量の増加(20歳以上)	275.4g	H28	350g	314.3g	R3	○	
③	果物摂取量100g未満の人の割合の減少(20歳以上)	63.1%	H28	50%	46.6%	R3	○	
④	朝食を食べる人の割合の増加(20歳代)	男性	51.4%	H27	57%以上	47.0%	R3	×
		女性	69.2%		76%以上	64.9%	R3	×
⑤	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(20歳以上)	42.2%	H28	70%以上	37.5%	R3	×	
⑥	毎日、家族や友人と楽しく食事をしている人の割合の増加(1日1食以上、楽しく2人以上で食事を食べている人(20歳以上))	57%	H27	68%以上	71.1%	R3	◎	
⑦	適正体重を維持している人の割合の増加(20~60歳代の男性の肥満、女性のやせの減少)	男性	29.0%	H28	23%	31.5%	R3	×
		女性	11.9%		10%	10.4%	R3	○
⑧	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の増加抑制	21.8%	H28	増加抑制(24%)	18.9%	R3	◎	
⑨	利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価・改善を実施している特定給食施設の割合の増加	65.5%	H28	68%	71.8%	R3	◎	
⑩	栄養ケア・ステーションの設置数の増加	4箇所	H28	29カ所	17箇所	R3	○	
⑪	食の健康協力店の増加	8,025店	H28	9,000店	8,561店	R3	○	
⑫	食の健康協力店の取組内容の充実(栄養成分の表示)	2,945店	H28	3,200店	3,281店	R3	◎	
<b>(3) 運動習慣の定着</b>								
①	日常生活における歩数の増加(20歳以上)	男性	7,782歩	H28	9,000歩以上	7,405歩	R4	×
		女性	6,813歩		8,500歩以上	6,561歩	R4	×
②	運動を継続している人の割合の増加(運動を行った日数)	週1回以上	62.0%	H28	70%	63.0%	R3	○
		週3回以上	37.0%		40%	39.2%	R3	○
③	日常生活のなかで体を動かすこと(歩く、そうじをする、子どもと遊ぶ等)を習慣化している人の割合	37.1%	H28	増加	36.5%	R3	×	
④	住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加	101,903人	H27	150,000人	136,781人	R2	○	
⑤	住民主体の介護予防に資する通いの場の箇所数	4,871箇所	H27	8,000箇所	7,063箇所	R2	○	
<b>(4) たばこ対策の推進</b>								
①	習慣的に喫煙している人の割合の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	全体	14.2%	H28	10%	12.4%	R3	○
		男性	24.8%		19%	23.7%	R3	○
		女性	7.1%		4%	4.0%	R3	◎

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値			
		数値	年度	数値	数値	年度	評価	
②	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持っている人の割合の増加	肺がん	83.5%	H28	90%	89.2%	R3	○
		喘息	65.4%		80%	73.0%	R3	○
		気管支炎	66.8%		80%	75.2%	R3	○
		心臓病	46.9%		60%	54.5%	R3	○
		脳卒中	50.3%		60%	57.6%	R3	○
		胃潰瘍	31.8%		50%	38.8%	R3	○
		妊娠に関連した異常	75.9%		90%	80.7%	R3	○
歯周病	41.9%	50%	53.1%	R3	◎			
③	禁煙指導を行う医療機関の割合の増加(ニコチン依存症管理科届出済医療機関)	全体	15.8%	H29.4	20%	18.2%	R3	○
		病院	34.5%		44%	31.4%	R3	×
		診療所	13.9%		16%	17.2%	R3	◎
④	禁煙指導を行う薬局・薬剤師数の増加	薬局	932 軒	H30.2	1,000 軒	882 軒	R4.6	×
		薬剤師	1,903 人		2,100 人	1203 人	R4.6	×
⑤	受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	職場	24.8%	H28	0%	21.6%	R3	○
		飲食店	42.0%		0%	17.3%	R3	○
		行政機関	4.5%		0%	3.5%	R3	○
		医療機関	4.6%		0%	4.6%	R3	△
		家庭	16.0%		3%	8.0%	R3	○
(5) 次世代への健康づくり支援								
①	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6%	H28	減少	9.4%	R3	◎	
②	妊娠中の妊婦の喫煙率の減少	4.1%	H28	0%	2.0%	R2	○	
③	育児期間中の両親の喫煙率の減少	父親	35.5%	H28	20%	30.4%	R2	○
		母親	6.3%	H28	4%	5.0%	R2	○
④	乳児のSIDS(乳幼児突然死症候群)の乳児死亡率の減少	11.5	H28	減少	11.3	R3	◎	
⑤	乳児の不慮の事故死亡率の減少	11.5	H28	減少	5.6	R3	◎	
⑥	乳児健診等において健診未受診児を含めた把握率の増加	乳児健診	99.6%	H28	100%	99.9%	R3	◎
		1才半健診	99.9%		100%	99.8%	R3	×
		3歳児健診	100.0%		100%	99.6%	R3	×
⑦	妊娠11週以下での妊娠届出率の増加	93.2%	H28	増加	95.2%	R2	◎	
⑧	妊娠届出時に保健師等専門職が全数に健康相談を行う市町数の増加	31 市町	H28	41 市町	36 市町	R3	○	
⑨	妊婦への喫煙に関する指導を実施している市町数の増加	40 市町	H28	41 市町	41 市町	R3	◎	
⑩	妊婦への飲酒に関する指導を実施している市町数の増加	40 市町	H28	41 市町	41 市町	R3	◎	
⑪	新生児訪問または乳児家庭全戸訪問の実施率の増加	97.2%	H27	100%	96%	R3	×	
⑫	定期予防接種の接種率の増加	麻疹及び風しん第Ⅰ期	97.4%	H28	95%以上	99.2%	R2	◎
		麻疹及び風しん第Ⅱ期	94.0%			95.5%	R2	◎
⑬	子育て世代包括支援センター(母子保健型)を設置する市町数の増加	30 市町	H29	41 市町	41 市町	R3	◎	

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値			
		数値	年度	数値	数値	年度	評価	
⑭	スポーツをする子どもの増加(学校体育授業を除く、1日1時間以上)	小学生	50.3%	H28	55.0%	43.6%	R3	×
		中学生	78.4%		85.0%	71.4%	R3	×
		高校生	54.9%		60.0%	52.8%	R3	×
⑮	未成年者の飲酒をなくす	中3男子	7.7%	H28	0%	0.0%	R3	◎
		高3男子	16.6%			0.9%	R3	○
		中3女子	2.2%			0.5%	R3	○
		高3女子	11.9%			1.4%	R3	○
		中1男子	0.0%			0%	R3	◎
⑯	未成年者の喫煙をなくす	高3男子	2.0%	H28	0%	0%	R3	◎
		中1女子	0.1%			0%	R3	◎
		高3女子	3.1%			0%	R3	◎
		性器クラミジア	72 件			減少	78 件	R2
淋菌感染症	22 件	13 件	R2	◎				
⑰	10歳代の性感染症患者数の減少(定点当たりの患者報告数)	72 件	H28	減少	78 件	R2	×	
⑱	思春期保健対策に取り組む市町数の増加	28 市町	H28	41 市町	36 市町	R3	○	
⑲	10歳代の人工妊娠中絶率の減少(人口千人対)	68.3%	H28	減少	87.8%	R3	○	
⑳	10歳代の人工妊娠中絶率の減少(人口千人対)	3.6	H28	減少	4.2	R2	×	
(6) 感染症その他の疾病予防								
①	予防接種を実施する人の割合の増加(インフルエンザ)	49.2%	H28	増加	63.3%	R2	◎	
②	家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加	手洗い	87.1%	H28	95%	95.1%	R3	◎
		うがい	67.1%		89%	64.3%	R3	×
		マスク	49.8%		59%	98.2%	R3	◎
		ワクチン接種	38.6%		48%	89.3%	R3	◎
2. 歯及び口腔の健康づくり								
(1) 総合的な推進								
①	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	55.7%	H28	65%	60.2%	R3	○	
②	かかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加	71.5%	H27	84%	75.9%	R3	○	
③	8020運動目標達成者割合の増加	40代28歳以上	64.4%	H28	77%以上	76.5%	R3	○
		50代25歳以上	80.1%		92%以上	91.6%	R3	○
		60代24歳以上	68.4%		73%以上	78.6%	R3	◎
		70代22歳以上	48.0%		64%以上	62.2%	R3	○
		80代20歳以上	40.2%		42%以上	54.6%	R3	◎
④	定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	28.4%	H27	30%以上	58.8%	R3	◎	
(2) 次世代への支援								
①	3歳児のむし歯のない人の割合の増加	85.0%	H27	90%	90.1%	R3	◎	
②	3歳児のむし歯のない人の割合が80%以上である市町数の増加	39 市町	H27	41 市町	41 市町	R2	◎	
③	12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の減少	4.2%	H28	3%	4.1%	R3	○	

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値		
		数値	年度	数値	数値	年度	評価
④	12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数の増加	29市町 70.7%	H28	34市町	35市町 85.4%	R3	◎
⑤	妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	39市町	H28	41市町	39市町	R3	△
(3) 成人期の取組							
①	8020運動目標達成者割合の増加【再掲】	40代 28歳以上	H28	77%以上	76.5%	R3	○
		50代 25歳以上		80.1%	92%以上	91.6%	R3
(4) 高齢期の取組							
①	8020運動目標達成者割合の増加【再掲】	60代 24歳以上	H28	73%以上	78.6%	R3	◎
		70代 22歳以上		64%以上	62.2%	R3	○
		80代 20歳以上		40.2%	42%以上	54.6%	R3
②	口腔機能の維持・向上(60歳代)における咀嚼良好者割合の増加	65.8%	H28	80%	73.8%	R3	○
(5) 配慮を要する者への支援							
①	障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	73.8%	H29	90%	64.2%	R3	×
②	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	32.2%	H29	50%	31.9%	R3	△
3. こころの健康づくり							
(1) ライフステージに対応した取組							
①	自殺者数の減少	942人	H28	800人以下	916人	R3	○
②	子育て世代包括支援センター(母子保健型)を設置する市町数の増加【再掲】	30市町 73.2%	H29	41市町 100%	41市町 100%	R3	◎
③	産後うつをチェックする市町数及びフォロ一体制がある市町数	34市町 82.9%	H28	41市町	41市町 100%	R3	◎
④	5歳児発達相談を実施する市町数の増加	29市町 70.7%	H29	41市町	31市町 75.6%	R3	○
⑤	眠れないことが頻繁にある人の割合の減少(中1、中3、高3)	4.8%	H28	3.8%以下	4.0%	R3	○
⑥	ストレスがたくさんあったと感じる人の割合の減少(中1、中3、高3)	15.0%	H28	13%以下	31.2%	R3	×
⑦	悩みがあった時に誰にも相談しない人の割合の減少(中1、中3、高3)	14.4%	H28	12%以下	12.6%	R3	○
⑧	ストレスを大いに感じる人の割合の減少	26.8%	H27	減少	19.3%	R3	◎
⑨	眠れないことが頻繁にある人の割合の減少	16.4%	H27	減少	14.7%	R3	◎
⑩	悩み・苦勞・ストレス・不満などがあつたとき、相談できない人の割合の減少	4.0%	H27	3.2%以下	3.1%	R3	◎
⑪	労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施率の向上(常時50人以上の労働者を使用する事業場)	83.3%	H29	増加	81.0%	R2	×
⑫	メンタルヘルス対策に取組むチャレンジ企業数の増加(カウンセラー派遣事業実施企業数)	83社	H28	140社/年	150社	R3	◎
⑬	ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数	1,424社	H28	2,424社	3,107社	R3	◎
⑭	多量に飲酒する人の割合の減少	男性	H28	1.8%以下	5.3%	R3	△
		女性		0.2%以下	1.3%	R3	○

計画の目標項目		策定時		目標	直近の実績値			
		数値	年度	数値	数値	年度	評価	
⑮	住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加【再掲】	101,903人	H27	150,000人	136,781人	R2	○	
⑯	住民主体の介護予防に資する通いの場の箇所数【再掲】	4,871箇所	H27	8,000箇所	7,063箇所	R2	○	
(2) 認知症の予防・早期発見の推進								
①	認知症相談医療機関の登録数の拡大	2,100箇所	H28	2,200箇所	1,937箇所	R3	×	
4. 健康危機管理事案への対応								
(1) 災害時における健康確保対策								
①	災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加	策定済 14市町 34.0%	H28	41市町	策定済 21市町 51.2%	R3	○	
		策定中 9市町 22.0%			策定中 4市町 9.8%			
②	災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加	61.7%	H27	75%以上	74.0%	R3	○	
(2) 食中毒の発生予防・拡大防止								
①	学校給食を原因とする食中毒の年間事件数を0件にする	0件	H28	0件	0	R3	◎	
②	大量調理施設を原因とする食中毒の年間事件数を0件にする(学校給食を除く)	1件	H28	0件	0	R3	◎	
③	家庭における自然毒による食中毒の年間事件数を0件にする	4件	H28	0件	0	R3	◎	
(3) 感染症の発生予防・拡大防止								
①	家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加【再掲】	手洗い	H28	95%	95.1%	R3	◎	
		うがい		67.1%	89%	64.3%	R3	×
		マスク		49.8%	59%	98.2%	R3	◎
		ワクチン接種		38.6%	48%	89.3%	R3	◎
②	腸管出血性大腸菌感染症(0157)の集団発生をなくす	1件	H28	0件	0件	R3	◎	